

令和５年度 熊本県立農業大学校 新規就農支援研修生募集案内

１ 研修方針及び研修内容

（１） 研修方針

新規就農を志向する他産業従事者等の多様な就農ニーズに対応した研修教育を行い、地域農業の振興に貢献できる人材を育成する。

（２） 研修内容

これから農業を始めようとする社会人に対して、農業経営者として必要な基礎的知識や栽培技術について研修し、新規就農を支援する。

２ 募集コース及び定員

研修コース		募集人員
プロ経営者 コース	本県農業の担い手として、野菜を中心とした本格的な農業経営を目指す若手農業者を育成する。	１０名程度
実践農業 コース	直売所等への出荷を通じて農業所得を確保しながら、地域の担い手として活躍する新規就農者を育成する。	４０名程度

３ 研修期間（時間）及び研修の特徴

研修 コース	研修期間及び研修時間	栽培管理研修の特徴等
プロ 経営者 コース	研修期間： 令和５年４月～令和６年３月 週５日（月～金） 研修時間： ８時５０分～１６時２０分	○ 研修生毎の就農予定品目を実際に生産・出荷する模擬経営研修により、就農に必要な基礎知識や技術を習得する。 ○ 暖房機等を備えた研修用ハウスと露地ほ場での栽培実習。 ○ 要件を満たす場合は新規就農者育成総合対策（就農準備資金）の申請が可能。
実践 農業 コース	研修期間： 令和５年４月～１２月 週３日（月、水、金） 研修時間： ８時５０分～１６時２０分	○ クラス毎の共同管理により、野菜等の栽培に必要な基礎知識や技術を学ぶ。 ○ 収穫した野菜等は農大マルシェ等で販売し、消費者との交流や販売体験を行う。

4 主な研修項目

研修コース	主な研修項目
共通	● 野菜等の栽培に関する基礎知識や技術の講義及び実習 ● 土壌肥料、病虫害の基礎知識に関する講義 ● 農業機械の操作・メンテナンスに関する実習 ● 農業経営に必要な情報や知識に関する講義 (農業簿記、営農計画、視察研修、農地制度、就農支援制度 等)
プロ経営者 コース	● 模擬経営研修 (生産から販売まで一貫した野菜の経営管理) ● 先進農家研修 (就農予定品目に応じた先進農家での派遣研修)
実践農業 コース	● 農大マルシェ等での販売体験

5 受講料

○ 受講料は無料。ただし、次のものは受講者負担とします。

研修コース	受講者負担内容
プロ経営者 コース	● テキスト代、小農具代等 (3万円程度) ● 損害・傷害保険料等の実費 ● 模擬経営研修にかかる経費 (肥料・農薬・種苗代・暖房費・販売資材等の実費 (品目に応じて10～20万円程度))
実践農業 コース	● テキスト代、小農具代等 (3万円程度) ● 損害・傷害保険料等の実費

6 受講申込資格

(1) 共通

○ 原則、研修開始前までに県内に居住し、研修終了後は県内で就農する社会人。

(2) プロ経営者コース

○ 就農予定時の年齢が原則50歳未満で、将来、本県農業の担い手として本格的な農業経営を目指す方。

(3) 実践農業コース

○ 就農予定時の年齢が原則65歳未満で、農産物の販売により所得の確保を目指す方。

7 応募手続

(1) 応募の方法

○ 希望するコースの受講願書 (プロ経営者コース (別紙様式1)、実践農業コース (別紙様式2)) に必要事項を記入し、農業大学校研修部へ持参又は郵送で提出してください。

(2) 出願先

熊本県立農業大学校 研修部

住所：〒861-1113 熊本県合志市栄3805

※受講願書を農業大学校研修部へ持参する場合は、原則、平日の午前9時から午後5時までとします。

(3) 受講願書の入手方法

- 農業大学校のホームページからダウンロードするか、熊本県立農業大学校研修部、熊本県庁農地・担い手支援課及び各広域本部（地域振興局）農業普及・振興課で入手することができます。
- ホームページからダウンロードする場合は、「熊本県立農業大学校」で検索してください。（熊本県のホームページ内）

8 募集期間及び研修生選考のスケジュール

	前 期 募 集	後 期 募 集
選考数の目安	プロ経営者コース：10名 実践農業コース：募集人員の7割程度	前期募集の残枠
願書の出願期間	令和4年9月 5日（月） ～10月28日（金）必着	令和5年1月 5日（木） ～1月27日（金）必着
面接日	令和4年11月14日（月） 及び15日（火）	令和5年2月13日（月） 及び14日（火）
選考結果の公表	令和4年12月1日（木）	令和5年3月1日（水）

※面接は農業大学校で実施することとし、時間等は受講申込者に別途通知します。

9 研修生選考

選考方法	● 書類審査及び面接により選考する。
結果発表	前期募集：令和4年（2022年）12月1日（木）午前9時 後期募集：令和5年（2023年）3月1日（水）午前9時 ● 農業大学校研修交流館に合格者の受験番号を掲示するとともに、本校のホームページにも掲載する。 ● 併せて、受講申込者に対し、可否を郵送で通知する。 ※自己の総合得点及び順位については、口頭により開示請求することができる。 ※メール、電話等による確認は受け付けない。

10 その他

(1) 宿泊施設

- 遠方在住の研修生等が利用できる宿泊施設（有料）があります。月曜日から木曜日まで（祝日前日・祝日を除く）宿泊可能です。

※コロナ発生状況によっては、宿泊をお受けできない場合があります。

(2) 新規就農者育成総合対策（就農準備資金）

- プロ経営者コースの研修生のうち、国や県の定める全ての要件を満たす方は、新規就農者育成総合対策（就農準備資金）の申請を行うことができます。
- ただし、研修中に要件を満たせなくなった場合や、研修修了後1年以内に就農しない、又は就農後一定期間を経ずに離農した場合には、交付金を返還する必要があります。
- なお、本研修における交付対象者への資金交付は、半期分ずつ年2回の予定です。

(3) 留意事項

- 研修終了後すぐに県内で農業経営を開始するためには、経営のビジョンや就農できる環境が重要です。受講願書の受講動機や目指す農業経営、具体的な栽培品目等、必要事項の欄は空欄がないようしっかり記入してください。
- 研修では、農業機械の操作や農薬散布等を行う場合があります。受講するに当たり、健康面において心配な点や特記すべきことがあれば、受講願書の健康状態の欄に必ず記入してください。
- また、受講決定者は、研修中の自身のケガ及び他人への損害賠償に備えて、研修開始時までに、各自必要な保険に必ず加入していただきます。

11 問い合わせ先

熊本県立農業大学校 研修部

電話：096-248-6600（研修部直通）

FAX：096-248-6018

Eメール：noudaikensyuu@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県立農業大学校
令和5年度新規就農支援研修受講願書（プロ経営者コース用）

熊本県立農業大学校長 様

熊本県立農業大学校令和5年度新規就農支援研修生募集案内の内容を確認のうえ、プロ経営者コースを受講したいので、下記のとおり申し込みます。

写真
3.5 cm × 4.5 cm

[illegible]

＜研修を希望する理由・就農を志した動機＞

＜就農ビジョン、目指している農業経営の姿、今回学びたい事＞

＜自己PR＞これまでの経歴、農業技術・経営に関する資格、ご自身の性格、自分自身のPR等

＜健康状態＞※研修を受けるにあたって心配な点や特記事項

プロ経営者コース受講希望者用（3枚目）

氏名：

次の設問の該当する箇所に○をつけ、必要箇所を記入してください

① 就農予定時期		令和 年 月 頃～（年齢）		⑪ 就農後の住居	
② 就農形態				現在の住居と同じ	
親元就農（将来、親族の農業経営を継承）				引越し予定（住居確保済み）	
独立・自営就農（自ら農業経営を開始）				引越し予定（住居未定）	
雇用就農（農業法人等へ就職）				⑫ これまでの相談状況	
③ 就農予定地				新規就農支援センター	
第一希望	市・町・村（地区名：）			市町村	
第二希望	市・町・村（地区名：）			県広域本部・地域振興局	
④ 栽培予定品目（3つまで）				相談していない	
品目	面積	選定理由		⑬ 就農後の相談先	
	a			あり	
	a			なし	
	a			⑭ 家族構成	
⑤ 就農から5年後の目標売上高		万円／年		独身	
⑥ 就農後の本人以外の労働力		家族： 人 雇用： 人		配偶者（配偶者の職業：あり／なし）	
⑦ 就農するにあたっての家族の同意				こども（ 人） （うち扶養人数： 人）	
同意あり				父	
同意は得ていない				母	
⑧ 就農に必要な農地の確保				祖父	
確保できていない				祖母	
確保できている又は確保できる見込み（下表記入）				兄弟姉妹（ 人）	
確保見込みの面積		（うち親等の所有農地の面積）		（うち他者からの貸借予定面積）	
水田	a	（ a）		⑮ これまでの農業経験等	
畑	a	（ a）		無いが将来的に農業を始めたい	
⑨ 就農に必要な施設・機械の確保				農業法人等で働いたことがある	
ハウス	有（ a）・継承（ a）・購入（ a）・借入（ a）			既に農業に従事している	
農舎等	有 ・ 継承 ・ 購入 ・ 借入			⑯ 現在、本人名義の農地の有無	
トラクター	有 ・ 継承 ・ 購入 ・ 借入			あり	
トラック	有 ・ 継承 ・ 購入 ・ 借入			なし	
その他機械	有 ・ 継承 ・ 購入 ・ 借入			⑰ 本人名義での農作物販売の有無	
今後確保が必要な施設・機械 （ ）				あり	
⑩ 必要な資金の確保（自己資金）				なし	
100万円未満				⑱ 新規就農者育成総合対策 （就農準備資金）	
100～500万円未満				希望する	
500～1000万円未満				希望しない	
1000万円以上				決めている	
				⑲ 雇用就農を想定している場合のみ	
				雇用先が決定している	
				未定	

熊本県立農業大学校
令和5年度新規就農支援研修受講願書（実践農業コース用）

熊本県立農業大学校長 様

熊本県立農業大学校令和5年度新規就農支援研修生募集案内の内容を確認のうえ、実践農業者コースを受講したいので、下記のとおり申し込みます。

写真
3.5 cm × 4.5 cm

[illegible]

＜研修を希望する理由・就農を志した動機＞

＜目指している農業経営＞

＜自己 PR＞これまでの経歴、農業技術・経営に関する資格、ご自身の性格、自分自身の PR 等

＜趣味・特技＞

＜健康状態＞※研修を受けるにあたって心配な点や特記事項

実践農業コース受講希望者用（3枚目）

氏名：

次の設問の該当する箇所に○を付け、必要事項を記入してください。

① 現在の農業との関わり方				⑥農業を始める際に準備できる自己資金	
農業のみに従事している				100万円未満	
農業法人で働いている				100～500万円	
農業以外の仕事に従事（アルバイトを含）しているが				500万円以上	
既に農業も始めている				ない	
家庭菜園程度の栽培を行っている				不明	
1年以内に農業を始める予定				⑦家族構成（同居の家族）	
将来的に農業を始めたい				独身	
特に何もしていないが、将来的に農業を始めたい				配偶者（職業 □有／□無）	
その他（ ）				子ども（扶養有 人／扶養無 人）	
② 就農時の農地の確保見込みの有無				父	
ない				母	
ある ※下の該当に面積を記入（見込みを含）				祖父	
	自分の農地	親などの農地	借地	祖母	
水田	a	a	a	兄弟姉妹（ 人）	
畑	a	a	a	その他（ 人）	
③ これまでの就農相談状況				⑧この研修を知ったきっかけ	
相談したことがない				農業大学校ホームページ	
相談したことがある（ 年 月頃 回）				就農相談会	
新規就農支援センター				関係機関（県・市町村等）	
県立農業大学校				友人・知人・過去の研修生	
市町村				広報（テレビ・ラジオ・チラシ）	
県広域本部・地域振興局				その他（ ）	
その他（ ）				⑨就農（予定）地	
④研修後の就農形態				市町村名（ ）	
自ら農業経営を開始（新規就農）				⑩就農（予定）時期	
自分または配偶者の親族の農業経営を継承				平成・令和 年 月頃（年齢 ）	
農業法人等に就業				⑪就農時の機械・施設の取得予定	
特に決めていない				農舎等	有・継承・購入・借入
⑤栽培予定品目と面積				ハウス	有・継承・購入・借入
品目	面積	品目を選定した理由		トラクター	有・継承・購入・借入
例）トマト	5a			トラック	有・継承・購入・借入
				その他	有・継承・購入・借入
				⑫目標売上高	
				就農してから5年後 万円／年	
				⑬就農後の自分以外の労働力	
				家族 人 / 雇用 人	
				⑭就農にあたって家族の同意	
				あり ・ 得ていない	